

～認知症を学ぼう…成年後見制度のできること～

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らすために…

街で不安そうにしている高齢者を見かけたことはありませんか？
日々の暮らしの中で認知症の人がパニックになる場合はたくさんあります。
また、病気の特徴から判断能力が低下して不利益をこうむることもあります。
高齢社会を迎え、85歳以上の4人に1人が認知症の時代になりつつある今、
「認知症」は他人事ではありません。

認知症を身近な問題として、また自分にも起こりうる事として理解を深め、
安心して生活するための仕組みを学びませんか？

- ◇日時 平成21年1月31日(土)
13:30～15:45(受付13:00～)
- ◇場所 甲西文化ホール

◇講師

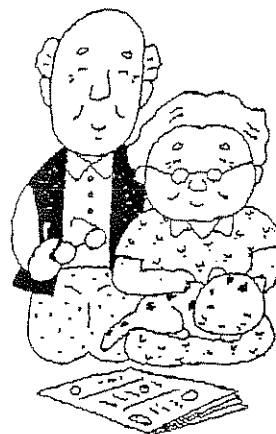
おきな ともこ
翁 朋子 さん (60分)
(滋賀県立成人病センター-老年神経内科・心理判定員)

演題:「ひとりひとりがその人らしく～ともに学ぼう認知症～」

たにくち かよこ
谷口 嘉代子 さん (50分)
(特定非営利活動法人あさがお 副所長)

演題:「安心して暮らし続けるために～成年後見のできること」

- ◇対象 地域にお住まいの方
- ◇参加費 無料
- ◇問い合わせ先 湖南省地域包括支援センター
TEL 71-4652
FAX 72-3788



あなたにもできること
ちいさなサポートはじめませんか

主催 湖南省
高齢者支援センター(いしべ・ひえ・ほだいじ・みくも)
協力 湖南省認知症キャラバンメイト